

平成30年度進行管理・評価シート
国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更 平成30年5月31日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携	2
2 景観計画策定に向けた取り組み	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿津賀志山防塁史跡整備事業	4
2 阿津賀志山防塁史跡アクセス道改修事業	5
3 阿津賀志山防塁歴史公園整備事業	6
4 無形民俗文化財活動支援事業	7
5 国見町歴史文化読本作成事業	8
6 歴史を活かしたまちづくり推進事業	9
7 案内ボランティア育成事業	10
8 周遊性向上検討・案内板設置事業	11
9 地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の維持・修理に関する取組	13
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組	14
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組	15
4 文化財の防災に関する取組	16
5・6 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	17~18
7 埋蔵文化財の取扱いに関する取組	19
8 文化財の保存活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組	20
9 文化財の保存・活用に関わる近隣市町村等との連携・協力した取組	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 復活の舞を奉納等	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果	23

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	24
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

計画の実現に向けた推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

計画に記載している内容 歴史まちづくり庁内検討委員会で計画推進のため庁内の連絡調整を行うものとする。「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」に意見や協力を求めることとし、事務局・庁内検討委員会は連携・調整し、計画の推進や計画の変更について連絡調整を行い、必要に応じて国・県と協議しながら進める。

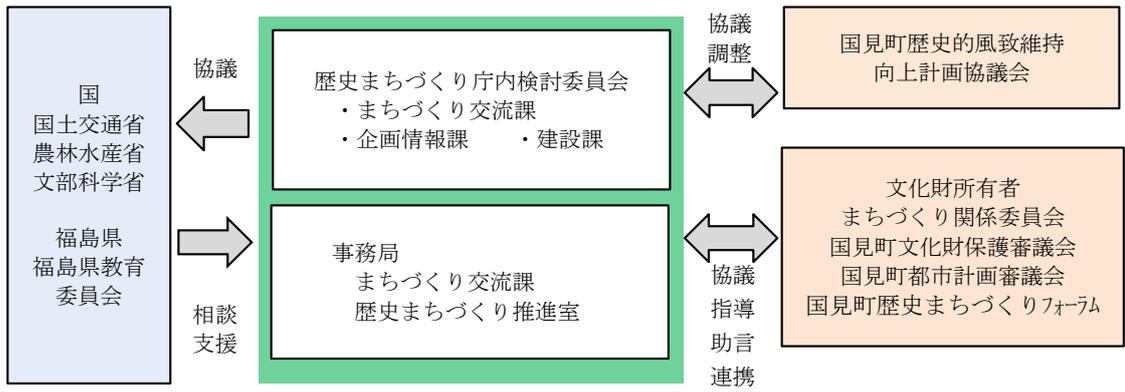
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第4回国見町歴史的風致維持向上計画協議会を開催し、進捗管理に関する報告・協議を行った。また歴史まちづくり庁内検討委員会を開催し、事業の実施に係る調整、情報収集(主に阿津賀志山防塁整備事業に関する件)を行った。更には、国見町文化財保護審議会を開催し、取組に関する報告・意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史まちづくり計画の事業推進に向け、一層の情報共有と、目的の共有化を図ることが必要であり、連携を強化していく。
--	---

状況を示す写真や資料等



■計画の推進体制図

●平成30年度歴史まちづくり庁内検討委員会構成

企画情報課長	1名	総合政策室	1名
建設課長	1名	建設係	2名
まちづくり交流課長	1名	管理係	2名
		歴史まちづくり推進室	4名
		商工観光係	1名
		道の駅連携室	1名

●会議の状況

会議名称	開催年月日	概要
第4回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	平成30年5月25日	平成29年度進行管理評価等
第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成30年11月12日	阿津賀志山防塁歴史公園整備について
第1回国見町文化財保護審議会	平成31年3月15日	30年度実施状況、31年度事業計画

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

【都市計画との連携】「県北都市計画区域」に指定され、都市計画との適切な連携を図ることで、良好な市街地と街並み景観が形成されていくよう誘導を図っていく。
 【景観法との連携】「福島県景観計画」による景観計画区域に町全域が指定され、届出が必要な行為及び景観形成基準が定められ、一定規模以上の開発に対し良好な景観を形成するよう規制している。
 【屋外広告物法との連携】「福島県屋外広告物条例」により、「良好な景観の形成」及び「歴史的風致の維持」などの観点から、町の美観や自然景観を損なわないような規制が定められている。
 【阿津賀志山防塁保存管理計画】文化財保護法に即して策定された「阿津賀志山防塁保存管理計画」により、7つの管理基準に基づき、規制及び今後の保存方針が示され、適切な保存・管理が図られている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域を含む町内を規制している県北都市計画区域・福島県景観計画・福島県屋外広告物条例および、阿津賀志山防塁の規制と保存方針を示した同保存管理計画の規定に基づき、開発等の届出・申請が必要な行為に対し、助言や手続きを行った。

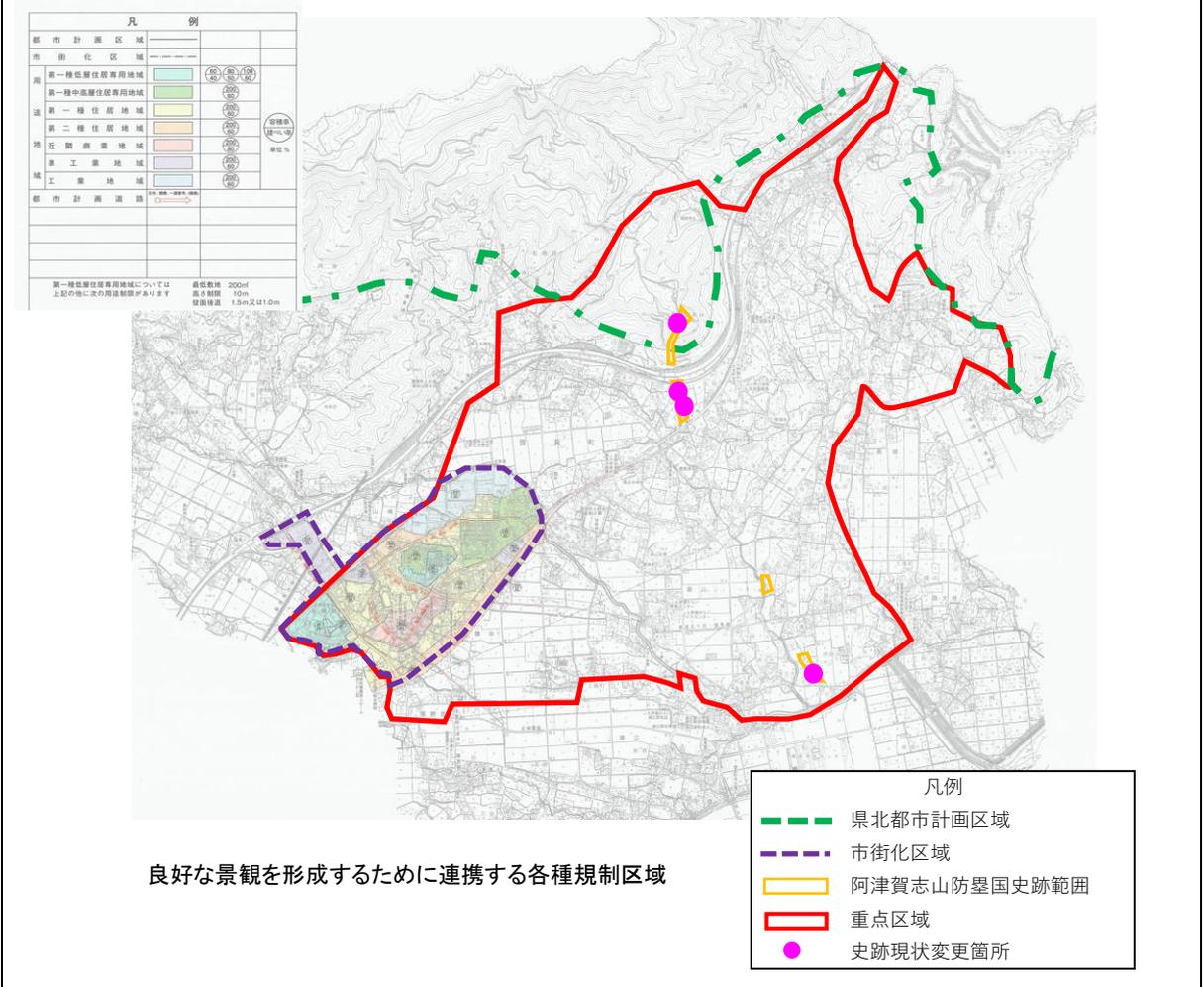
平成30年度実績 ・福島県屋外広告物条例(特別規制区域・普通規制区域) 届出 3件 (※いずれも許可不要)
 ・阿津賀志山防塁(国指定史跡範囲) 現状変更申請 4件 (※軽微な変更含む)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
景観計画策定に向けた取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
本町には、奥羽山脈を西に擁し、雄大な山並みと阿武隈川の恵みを背景に美しい田園風景が広がる農村景観、および奥州街道・羽州街道沿いに形成された街道集落を中心とする歴史的景観、旧宿場町を母体とする都市景観など、多様で良好な景観が形成されている。歴史遺産とともに、雄大な山並みと一体となった景観を維持し、後世に継承するため、景観行政団体へ移行するとともに、景観法に基づく景観計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域に残る歴史や文化、自然を守り、活かしながら、周辺の景観と調和した良好なまち並み・景観の形成を図るため、景観行政団体として取り組むべき景観施策を明らかにした上で、今後の国見町における景観づくりの方針等を示した景観計画を平成30年度より3か年かけて策定する。

- 平成30年度実績
- ・町民アンケート「国見町の景観まちづくりに向けて」を実施。
 - ・上位関連計画等現況および景観資源(景観資源の整理・把握、景観特性)の整理。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

国見町の景観まちづくりに向けて

～アンケート調査にご協力ください～

町長の皆様には、日頃から町政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

国見町には美しい山々や田園農村風景等の農村景観、歴史的まち並みなど、このまちを愛する先人たちが築き上げてきた魅力的な景観資源が数多く残されています。

町では、平成27年2月に「国見町歴史的風致維持向上計画」を策定し、自然や歴史・文化、人々の生活など、地域特有の景観に光を当て、個性的で魅力あるまちをつくるため「景観まちづくり」を推進しています。

そこで、町民の皆様が身の回りの景観について感じていることや問題意識等をお聞かせ頂き、景観計画を策定する上での参考とさせて頂く目的でアンケート調査を行うこととなりました。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、国見町のよりよいまちづくりのため、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成31年1月
国見町長 太田 久雄

<ご記入にあたってのお願い>

- アンケート対象者
 - ・この調査は、町内に住む満18歳以上の1,000人の方を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。
- アンケートの活用について
 - ・調査は無記名でご回答をいただき、集計は統計的にいたしますので、個人の情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることはありませんので、率直なご意見ををお願いします。
- 記入・回答方法について
 - ・ご記入の際はボールペン、鉛筆などで、はっきりとお書きください。
 - ・ご回答は、あなたのお考えに最も近い番号に「○」印をつけてください。また、記述する欄所もありますので指定する方法をお書きください。
 - ・路線により、お答え頂く数が1つの場合と複数場合があります。
- 返答方法について
 - ・ご回答頂きましたら、調査用紙を折り隠して返信用封筒に入れて1月31日(木)までに郵便ポストに投入してください。切手は必要ありません。

<お問い合わせ先>
〒969-1792 国見町大字藤田字一丁目二番7号
国見町役場 建設課 管理係
TEL: 585-2972 FAX: 585-2181

景観とは？

景観とは、地域ごとの自然や歴史・文化などを背景に、人々の生活や経済活動の積み重ねによって創られていくもので、地域の個性や特色を表すものです。

また、景観は眺める対象である風景や景色を表す“景”と、それを眺める人の行動である“観”で表されるように、目に見える風景や景色だけではなく、観る人の感情までを含めて、一体となって見えてくるものを意味します。

景観まちづくりとは？

景観まちづくりとは、自然や歴史、文化、人々の暮らしに係る地域の特性や課題に対応して、地域の魅力や価値を高め、暮らす人や訪れる人に愛着と誇りを醸成するなど、より魅力ある地域づくりのための活動です。

【景観まちづくりの例】

- 現在の良好な景観の維持・継承
- 新たな魅力ある景観の改善・創出
- 日々の暮らしに根ざした景観を整える活動(清掃や緑化など) など

景観まちづくりに期待される効果

良好な景観は、地域の個性や特色を分かりやすく特徴づけるとともに、豊かな生活環境の創出に貢献して、観光をはじめとした地域間の交流を活発にする効果が期待されます。

地域の個性・特色の演出

観光・交流の促進

身近な環境の維持・改善

地域経済への貢献

町民アンケート調査「国見町の景観まちづくりに向けて」

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
阿津賀志山防塁史跡整備事業		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業、史跡等買い上げ事業

計画に記載している内容 史跡の追加指定や公有地化した範囲を含め、整備に必要な情報を得る為の、史跡内容確認調査を行うとともに、堀・土塁などの復原整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①「阿津賀志山防塁整備基本計画・下二重堀地区計画」策定(平成30年9月25日)
- ②阿津賀志山防塁史跡整備実施設計(下二重堀地区:雨水排水設備工事、L=268m)
- ③遺構内容確認を目的とした第23次発掘調査(平成30年11月26日～12月14日:下二重堀地区、A=90㎡)
- ④国道4号北側地区5筆(3,097.84㎡)の公有地化
- ⑤「阿津賀志山防塁整備基本計画・下二重堀地区計画」及び調査成果、実施設計に関わる協議のため調査・整備指導委員会の開催(平成30年9月13日、平成31年2月19日)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

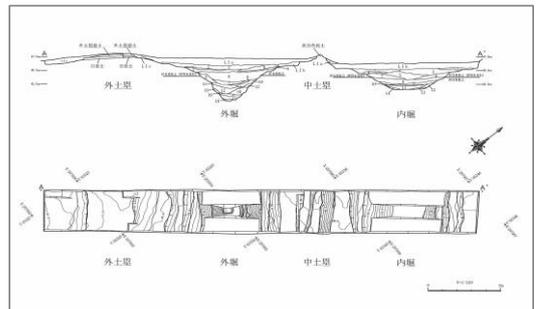
状況を示す写真や資料等



下二重堀地区実施設計範囲・発掘調査区



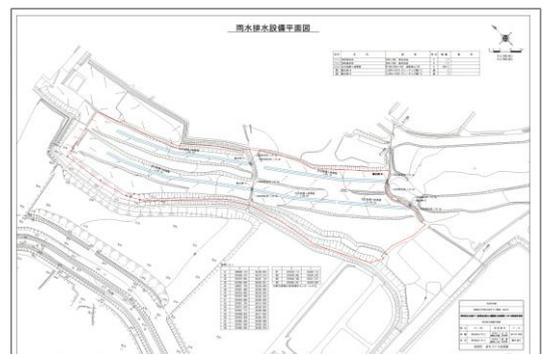
第23次調査 外堀調査状況



平成30年度調査トレンチセクション図・平面図



調査・整備指導委員会



雨水排水設備平面図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

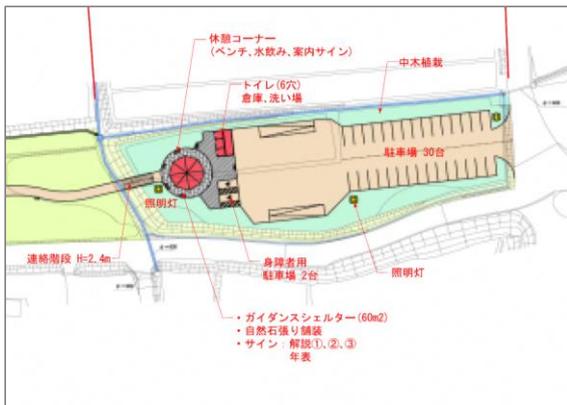
		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
阿津賀志山防塁史跡アクセス道改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和4年度		
支援事業名	町単独事業、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	阿津賀志山防塁の保存状態が良好な箇所は、傾斜地や農地に分散しアクセス道の整備が行き届いていない。車幅が不十分な町道はバス等の進入が困難であるため、町道改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①【国道4号北側地区】 史跡に接続する町道2029号線改良事業:歩行者・車両等の進入が困難となっている町道を改良しアクセス性の向上を行った。(L=772m) ②【下二重堀地区】 阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園整備実施設計:バスの駐車、転回を可能とする駐車場の整備による現道を生かした実施設計を行った。令和2年度の駐車場整備とそれに伴う町道改良によりアクセス性の向上を図る。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



町道2029号線改良前



町道2029号線改良後



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園
全体計画平面図(駐車場部分)



歴史公園(駐車場)整備予定地

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
阿津賀志山防塁歴史公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 町単独事業、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 下二重堀地区と国道4号北側地区の周辺に園地整備を行う
下二重堀地区周辺においては、駐車場・遊歩道の整備を行い阿津賀志山と中尊寺蓮池を一体的に周遊できるよう整備、またガイダンス広場を設置し歴史認識を深めるよう整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園整備地権者説明会の開催(平成30年6月13日)
- ②阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園整備住民説明会の開催(平成30年6月16日)、パブリックコメントの実施(6月25～7月9日)
- ③くみに阿津賀志山防塁活用推進懇談会によるワークショップの開催支援(平成30年7月30日、11月1日、2月26日)
- ④阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園整備実施設計

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

住民への丁寧な説明と住民参画による活用への取り組み

状況を示す写真や資料等



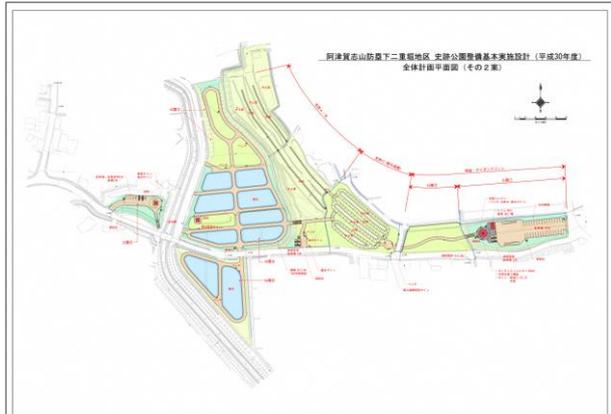
阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園整備地権者説明会(6月13日)



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園整備住民説明会(6月16日)



くみに阿津賀志山防塁活用懇談会



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園全体計画平面図

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度										
項目		現在の状況											
無形民俗文化財活動支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手											
事業期間	平成27年度～令和6年度												
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業												
計画に記載している内容	祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握と映像による記録作成などの学術調査を行うとともに、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を保存していく取り組みに対して支援を行う。												
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で													
①町指定無形民俗文化財の保存団体である2団体に対し、文化財保護育成にかかる活動について助成(国見町社会教育関係団体補助金)を行った。 ②内谷春日神社太々神楽に用いる、明治時代作成の面(12種類)のうち、傷みの大きい3枚の補修を行った。 ③子どもへの継承を図る子ども太々神楽教室を支援し、15人の生徒が10回の練習と2回の発表を行った。													
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)												
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない													
状況を示す写真や資料等													
													
													
<p>■内谷春日神社太々神楽面整備事業</p> <p>明治時代より伝わる内谷春日神社太々神楽の面について、全12種類のうち、傷みの大きい3枚の修繕について、福島県文化財保護審議会副会長の懸田弘則氏・内谷春日神社太々神楽保存会会長の佐藤清二氏と検討会を重ねながら行った。</p>													
<p>■無形民俗文化財支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイトル</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内谷春日神社太々神楽面整備事業</td> <td>神楽面3点修繕(文化庁事業)</td> </tr> <tr> <td>内谷春日神社太々神楽保存会への支援</td> <td>助成金(町単独)</td> </tr> <tr> <td>国見伝統文化保存会への支援</td> <td>助成金(町単独)、フォトコンテスト支援</td> </tr> <tr> <td>子ども太々神楽教室</td> <td>国見町子ども太々神楽教室育成会事業に対する支援</td> </tr> </tbody> </table>				タイトル	概要	内谷春日神社太々神楽面整備事業	神楽面3点修繕(文化庁事業)	内谷春日神社太々神楽保存会への支援	助成金(町単独)	国見伝統文化保存会への支援	助成金(町単独)、フォトコンテスト支援	子ども太々神楽教室	国見町子ども太々神楽教室育成会事業に対する支援
タイトル	概要												
内谷春日神社太々神楽面整備事業	神楽面3点修繕(文化庁事業)												
内谷春日神社太々神楽保存会への支援	助成金(町単独)												
国見伝統文化保存会への支援	助成金(町単独)、フォトコンテスト支援												
子ども太々神楽教室	国見町子ども太々神楽教室育成会事業に対する支援												

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
国見町歴史文化読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和6年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 阿津賀志山の合戦、鹿島神社の例大祭など各地の歴史や史跡・建造物と人々の活動をそれぞれのテーマ毎に調査成果をまとめ、「歴史文化読本」(仮称)を作成する。また小中学校の授業とも連携し『国見学』を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

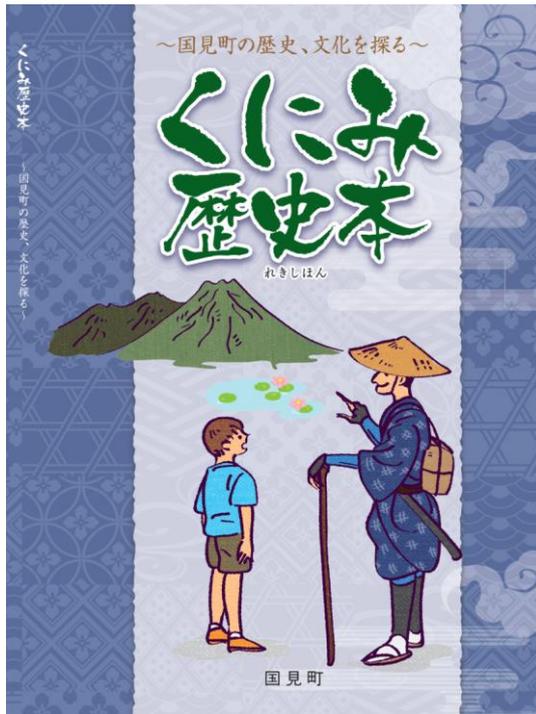
町の文化財や人々の活動等の周知啓発を図るため、歴史や文化財を網羅し小中学生や来町者に分かりやすく、歴史めぐりができる「くにみ歴史本」を4000部作成した。平成31年度に町民等へ配付を予定している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第1章 くにみの歴史

- 原 始 (旧石器時代・縄文時代・弥生時代) …… 8
- 古 代 (古墳時代・奈良時代・平安時代) …… 12
- 中 世 (鎌倉・南北朝・室町・戦国・安土桃山) …… 16
- 近 世 (戦国末期・江戸) …… 20
- 近現代 (明治・大正・昭和) …… 24
- 近現代 (国見町の産業) …… 28
- 国見町の領主変遷・年表 …… 30
- ～未来へ向かって～ …… 32

第2章 くにみのたからもの

【エリア】

- 阿津賀志山防塁エリア
 敵の進攻を遮る長大な要害…34 二重堀の構造…35
 合戦に至るまで…36 奥州合戦最大の激戦地となる…38
 伊達氏による支配の始まり…39
 防塁と関連文化財群を巡ってみよう…40
- 旧奥州街道エリア
 旧奥州街道藤田宿…45 旧奥州街道藤田宿の見どころ…46
 旧奥州街道貝田宿…49 旧貝田宿の名残…51
 旧奥州道中国見峠長坂跡…55
- 旧羽州街道エリア
 旧羽州街道 小坂峠道跡 (町指定史跡) ……57
 小坂宿…57 半田嶺山…58 伊達成宗の墓…58
 深山神社「四米の結馬」と「大権大藤」…59
- 光野寺エリア
 藤澤神社…61 三尊院御堂…62
 福聚寺と伊達朝宗夫人の墓…62

【テーマ】

- 民俗芸能
 1.春日神社…64 2.祭礼の準備・神楽奉納…65
 3.太々神楽について…66 4.神輿渡御…67
- 祭 礼
 1.鹿島神社…70 2.鹿島神社例大祭…71
 3.例大祭の準備…72
 4.例大祭前夜祭、例大祭1日目例大祭・宮話、2日目神楽祭(神輿渡御)…73
 5.祭りのハイライト「もみ合い」…76
- 産 業
 1.石蔵と石工技術…78
 2.石蔵建設の先駆者伊藤柳太郎…80
 3.石蔵の変遷…82 4.石蔵の普及…83
 国見町「石蔵図鑑」…84

「くにみ歴史本」表紙、目次

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史を活かしたまちづくり推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業		
計画に記載している内容	歴史を活かしたまちづくりや地域住民のまちづくり参加への意識醸成及びまちの魅力を再発見が重要かつ必要であり、住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウムの開催を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史を活かしたまちづくりを進めるため、様々な視点をもったシンポジウム・ワークショップを開催した。 ①第10回歴史まちづくりシンポジウム「国見石と大谷石のお話し」(「石工(ロック)フェスin石蔵2018」にて、200名来場) ②歴史文化基本構想ワークショップ「後世に伝えたい、残したい私たちの営み」 34名参加			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



長田研究室の学生2名による講演
「女子大生が教える国見石と石蔵のみどころ」
スタッフとして郡山女子大生23名が参加



宇都宮市職員の井上俊邦氏による講演
「大谷石を活用したまちづくり」

～国見町歴史文化基本構想の策定に向けて～

町民ワークショップ

後世に伝えたい残したい私たちの営み

国見町では、この地を子孫に受け継いできた人々の知恵・文化・歴史を、受け継ぎ、未来へ伝えていくための基本構想の策定に向けて取り組んでいます。

先人から受け継いできたわたしたちの営みは、全てが大切な町の歴史です。失われつつある営みがある今、その価値を見直し、次世代へ引き継いでいく方法を、5地域(小坂・藤田・大木戸・森江野・大枝)に分かれ、皆さんで考えていきます。

国見町のシンボル「厚樫山(阿津賀志山)」はあなたにとってどんな存在ですか?

伝えていきたい、守りたい、地域の活動は何ですか?

2018

参加申込み 国見町まちづくり交流課 歴史まちづくり推進室 02585-2967 ※定員約40名

場所 観月台文化センター 大研修室

11/30(金)
13:30～15:30



町民ワークショップ
「後世に伝えたい残したい私たちの営み」

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
案内ボランティア育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和6年度		
支援事業名	町単独事業、文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語ることができる人材の育成を図る。案内ボランティアの養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本町には、様々な時代や生活文化を反映した文化財が所在し、現地での案内ガイドがセットになることで、魅力・価値が高まる。案内ガイドを担うボランティアガイドの育成を図った。現在案内ガイド「国見町文化財ボランティア」は21名が登録。前期は基礎研修として研修会3回、文化財魅力アップ活動2回(うち1回は研修会同時開催)、後期は応用研修として、くにみ案内人養成講座3回の計7回実施し、のべ69名参加。 (前期は町内史跡、文化財にて実地研修を主にし、後期は外部講師を招いた研修)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ガイドの資質向上と、多くの来町者に対応するための養成が継続的に必要。		
状況を示す写真や資料等			
			
国見町文化財ボランティア魅力アップ活動6月14日 「石母田供養石塔」を視察		国見町文化財ボランティア研修会9月4日 「福源寺地蔵庵観音堂」実地研修	
			
くにみ案内人養成講座11月11日 「伝えることを学ぶ」ワークショップ 桃農家の現地視察		くにみ案内人養成講座12月12日 「伝える技術(テクニック)を学ぶ」 ももたんFM(FM福島)古賀徹氏の講義	

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
周遊性向上検討・案内板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業、福島県観光力づくり支援事業

計画に記載している内容 来町する観光客が、本町の点在する文化財を効率よく、かつ楽しみながら観光できるより良いルートを検討し、周遊案内板の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道の駅・JR藤田駅等を拠点とした周遊ルートの実践的検討を目的とした周遊観光ツアー及び検討結果を反映した歴史文化遺産解説看板の設置などを実施。町の歴史をはじめとした豊富な観光資源の周知啓発につながった。

- ①くにみ夏のご案内week♪:道の駅を拠点とし、約2週間にわたり夏のくにみの見どころを案内した。
- ②くにみ周遊ツアー:夏・秋3日、計6回開催した。
- ③町内歴史散策ツアー:町イベントやJR東日本と連携し、町内の歴史を散策するツアーを開催した(計3回)
- ④歴史文化遺産解説看板設置:案内解説板を9か所に設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【夏のくにみご案内week♪】
7/28(土)～8/12(日)道の駅特別ブースでの案内



【秋のくにみ周遊ツアー】
11/2(金)旧奥州街道貝田宿&あんぼ柿作り体験



【町内歴史散策ツアー】
9/23(日)旧奥州街道藤田宿ぶらりまち歩きツアー



【歴史文化遺産解説看板設置】
町指定史跡 石母田城跡 荒町虎口

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和元年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 本町における多様な文化遺産の総合的な把握に向けて調査を行う。基礎的な調査・研究により情報の蓄積を行い、「歴史文化基本構想」の策定に向けた取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史文化基本構想策定に向けた、祭礼調査事業、町内歴史文化の基礎的調査を実施。
 ①祭礼調査は、町内に約40の神社があり、春と秋の祭礼について調査・記録を行った。
 ②基礎的調査は、歴史文化基本構想策定に向け、個人や団体等への聞き取り調査を実施。また、町民ワークショップ「後世に伝えたい、残したい、私たちの営み」を行った(11月30日)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



聞き取り調査(高城国見神社)



町民ワークショップ
 「後世に伝えたい、残したい、私たちの営み」

■祭礼調査

タイトル	年月日	概要
御滝神社滝普請(光明寺地区)	平成30年4月8日	滝普請調査(記録撮影・聞き取り)
御滝神社例大祭(光明寺地区)	平成30年4月14日	例大祭調査(記録撮影・聞き取り)
春日神社例大祭(内谷地区)	平成30年4月15日	例大祭、太々神楽(記録撮影・聞き取り)
秋葉神社例大祭(貝田地区)	平成30年4月15日	例大祭調査(記録撮影・聞き取り)

■歴史文化資源に関する聞き取り調査実績

日程	内容	場所	対象文化財等
8月27日	いきいきサロンにおける集団聞き取り	安養寺、高城集会所	安養寺薬師堂、薬師如来像、十二神将像、高城地区の信仰の歴史等
9月18日	いきいきサロンにおける集団聞き取り	徳江北コミュニティセンター	徳江の歴史
10月4日	美術工芸品所在確認	安養寺、観音寺、個人宅	【安養寺】木造薬師如来坐像、木造観世音菩薩 【観音寺】観音坐像、寺縁起、鉄道開通記念絵馬 【個人宅】弘法大師坐像、四国八十八か所巡礼の旗と認印の記録帳
10月7日	美術工芸品所在確認	個人宅	伊達晴宗判物、伊達政宗書状
10月11日	美術工芸品所在確認	国見神社、個人宅	【国見神社】国見神社奉納算額、国見神社宝楽俳諧奉額 【個人宅】義経の腰掛松図
11月18日	郷土史研究会方部研修 石母田地区フィールドワーク	石母田集会所他	義経の腰掛松、石母田城跡、下紐の関・弁天神社
11月20日	講及び信仰の実態確認	個人宅、西松寺	【個人宅】二十三夜講、えびす講 【西松寺】観音講、梅花講
11月21日	講及び信仰の実態確認	山崎小館町内会、個人宅、福聚寺	【山崎小館町内会】御福年講(おふくでん講) 【個人宅】オンメサマ 【福聚寺】木造虚空蔵菩薩坐像、念仏講
11月30日	町民ワークショップ ～歴史文化基本構想の策定に向けて～ 後世に伝えたい、残したい、私たちの営み	親月台文化センター 大会議室	阿津賀志山との関わり、各地区での歴史文化資源との関わり、伝えたい活動等に関するワークショップ
1月17日	養蚕、民具に関わる実態調査	個人宅	養蚕住宅、養蚕業、民具
1月21日	美術工芸品、信仰追加調査	個人宅	義経の腰掛松図、オンメサマ
1月27日	講追加調査	山崎公民館、泉田上公民館、まつやドライブイン	【山崎公民館】山崎館町内会・御福年講 【泉田上公民館】泉田上町内会・二十三夜講 【まつやドライブイン】山崎小館町内会・御福年講
3月5日	古文書調査	個人宅	奥山忠雄家文書

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の維持・修理に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
経年劣化や災害等の外的要因によるき損の恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。所有者等による適切な維持管理と日常的な点検を行うことで損傷の早期発見に努め、必要に応じて、所有者等の意識向上のための適切な助言を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①国史跡「阿津賀志山防塁」ほか町史跡等における草刈 10か所
- ②福島県重要文化財(建造物)「旧佐藤家住宅」燻蒸作業 3回実施
- ③文化財パトロールの実施(強風による倒木の伐採及び整備)
- ④天然記念物「深山神社の大榎・大藤」の保護に関する取組(アブラカスの散布等実施)
- ⑤旧佐藤家住宅修繕事業 平成29年4月の強風により被災した「旧佐藤家住宅」の修繕事業を2か年計画で開始し、萱材の原材料購入(確保)を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



藤田城公園 強風による倒木伐



天然記念物の保護に関する取り組み
(町天然記念物「深山神社の大榎・大藤」)



「旧佐藤家住宅」現状(被災箇所の養生対策工事実施)



「旧佐藤家住宅」修繕事業(萱材購入完了検査)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本町は、国見町観月台文化センター内の歴史資料室が、文化財を展示・活用する施設となっているが、博物館的機能や町の文化財を総合的に情報発信する機能は十分ではない。このことから、今後これらに関する機能を持ち合わせた施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国見町文化財センター「あつかし歴史館」の施設機能向上とともに、現地の保存・活用施設および案内サインを充実させることで、周遊する訪問者の利便性を向上した。 ・案内サイン(国道4号脇、歴史館前)の設置 ・展示内容の充実、常設展示のリニューアル			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
あつかし歴史館 考古資料展示			
あつかし歴史館 国見石に関する展示			
			
あつかし歴史館 案内サイン(国道4号脇)			
あつかし歴史館 案内サイン(歴史館前)			

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するとともに、文化財の説明板や案内板、誘導サイン等の公共サイン、便益施設等の公共施設を新たに設置する際や劣化によりその機能を発揮できていないものを再整備する際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①阿津賀志山防塁国道4号北側地区において、史跡買上げ事業および立木伐採事業が実施されたことにより、景観の阻害となっていた樹木の一部が取り除かれ、景観の改善が図られた。 ②指定文化財周辺における開発にかかわる景観についての相談を受け付け、地元住民団体との意見交換を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">施工前</p>		 <p style="text-align: center;">施工後</p>	
阿津賀志山防塁立木伐採事業実施箇所(国道4号北側地区) (福島県伊達郡国見町大字大木戸字阿津加志山一1番202(西から))			
 <p style="text-align: center;">施工前</p>		 <p style="text-align: center;">施工後</p>	
阿津賀志山防塁史跡買上げ事業実施箇所(国道4号北側地区) (福島県伊達郡国見町大字大木戸字阿津加志山一1番76(西から))			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の防災・防犯に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、個別の有形文化財毎に防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①防火に対する取組
 - ・国見町消防団と連携し、町内文化財の消防訓練を町内5か所で実施(1月27日)
 - ・「文化財防火デー」の取り組みおよび火災への備えを周知するポスターの作成および広報実施
- ②防犯に対する取組
 - ・文化財ボランティアと連携し、パトロールの実施(6月30日、10月27日)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



消防訓練の様子 県重文「旧佐藤家住宅」



県指定重要文化財「旧佐藤家住宅」での放水訓練(19年の様子)

昭和24年1月26日、法隆寺(奈良県橿原市)の金堂から出火し、飛鳥時代を代表する貴重な壁画が焼損してしまいました。このことをきっかけに昭和25年に文化財保護法が制定され、昭和30年に「文化財防火デー」が定められました。以来、この日を中心に全国各地で文化財防火運動が展開されております。

近年も貴重な文化財が、火災により焼失や傷つけられる事例が残念ながら見られ、引き続きの取り組みが必要です。国見町の宝である文化財を100年、200年の未来に伝えていくために、町長の皆様には、文化財を管理する方々とともに、文化財保護への御協力をお願いいたします。

福島県教育委員会・国見町教育委員会

文化財防火デー周知ポスター



文化財パトロール(6月30日)



文化財パトロール(10月27日)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、国見町文化財ボランティア等によるガイド活動や講演会・シンポジウムなどのイベントの開催等により、文化財に対しての普及・啓発を広く図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建造物等の公開、学校教育との連携、歴史講座・まちあるき、祭礼・市での連携活動、文化財の案内ガイドなどを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



奥山家住宅クリスマスワークショップ



古民家体験教室「民話体験」

■文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組

タイトル	年月日	概要等
あつかし歴史館イベント	平成30年5月～平成31年2月	歴史と年中行事にまつわるイベント 4回延べ約800人
奥山家公開(くにしゅらん)	平成30年6月、12月	観光ツアーにおける奥山家内部公開 2回延べ26人
総合学習での国見学の取り組み	平成30年6月29日	国見小学校6年生史跡探検隊 71人
石工(ロック)フェスin石蔵 2018	平成30年9月16日	旧小坂村産業組合石蔵で体験型イベント200人
奥山家一般公開(義経まつり)	平成30年9月23日	奥山家住宅洋館を一般公開 746人来館
藤田宿まちあるき(義経まつり)	平成30年9月23日	藤田宿のスポットをまちあるき 64人参加
くしみ周遊ツアー	平成30年8月3日、5日、11月2日	町内周遊ツアーの実施 3日間計6回 94人
道の駅あつかしの郷から巡る 夏のご案内Week	平成30年7月28日～8月12日	道の駅特別ブースで案内対応 計7日間 約400人
旧佐藤家住宅公開	平成30年11月3日～4日	民話の会民話語り、内谷太々神楽公演
古民家体験教室	平成30年11月10日	少年仲間づくり教室生ほか 37人
奥山家住宅クリスマスワークショップ	平成30年12月17日	奥山家でのクリスマスワークショップとクリスマスのお話 26人参加
かまどdeご飯(桜の聖母短大)	平成31年1月26日	国見石のかまどでの炊飯実演 100食提供
文化財ボランティア案内件数	平成30年度	48件2,439人

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本町にある多くの文化財や歴史的遺産は町の成り立ちに大きく関わっている「国見のたからもの」であり、意識が醸成される過程で自らの町の歴史性や風土、この地に伝わる伝統や人々の共同体としての意識が培われていき保存・継承活動に対する理解も深まる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
町民にとって身近な町の広報紙「広報くにみ」で町内の歴史的、文化的に貴重な「国見のたからもの」を募集・紹介。写真とその解説を毎号12回掲載した。(平成26年6月から58回) また、「歴まちさんぽ」と題して、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」の取組についても毎号掲載した。(平成29年7月から21回)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



井天神社(大字石母田字井天沢)
阿津賀志山の南麓に位置する井天神社付近は、古代、前美濃勢力と大和朝廷勢力圏の境界として、「下駄の関」が置かれたとの言い伝えがある場所のひとつです。「下駄」とは万葉集などの恋歌に多く現れ、「関く結ぶ」にかかる言葉で、後に「伊達の大木戸」と呼ばれるこの関が、堅固であったと解することができます。
古代東山道の湧水地であるこの場所からは、きれいな三角形の阿津賀志山を望むことができ、国見峠を越えようとする旅人たちのオアシスだったかもしれません。

【問い合わせ】歴史まちづくり推進室 ☎585-2967

【問い合わせ】歴史まちづくり推進室 ☎585-2967



オシンスママ(明治時代 個人蔵)

「国見のたからもの」No.56



町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」の取組を進めています。町や地域が行うこの取組について、毎月お伝えしていきます。
【歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】
【あつき歴史館 ☎585-4520】

～国登録有形文化財奥山家邸で過ごすクリスマス～
クリスマスワークショップと日本のクリスマスの歴史のお話

国登録文化財「奥山家住宅」の洋館で12月17日、「クリスマスワークショップと日本のクリスマスの歴史のお話」を行い、町内外から26人が参加しました。今回が初めてとなるこのイベントは、大正10年に建てられた西洋建築の洋館で、同じく大正時代より親しまれ始めた日本のクリスマス文化の歴史を学ぶことをテーマに行われました。

その後、国見特産のあんずジャムを使った特製バターケーキを食べながら、日本のクリスマスの歴史のお話を聞いたり、クリスマスの楽しい思い出を語り合いました。参加者からは、「歴史ある洋館で優雅なひとときが過ごせた」など、満足の声も寄せられました。町外からの参加者も多かった今回、奥山家住宅や国見町の歴史に興味を持つ契機となると良いものです。



1 坂内まゆ子さん(FRIDAY SCREEN)によるワークショップでは、和紙を使ってクリスマスにぴったりの星型のオーナメントを作りました。

思い出のクリスマスケーキの味は「バタークリーム?生クリーム?」

日本を代表するお菓子メーカーの不二家がクリスマスケーキの販売を始めたのが明治43年。その後、日本人の好みを研究し、イチゴのショートケーキが作られました。当時は日持ちがするバタークリームを使用し、冬には手に入らないイチゴの代わりにフルーツジャムやハーフクリームのパウチなどで装飾されていました。昭和40年代の高経済成長まで作菓業界が成長するまで、バタークリームの代わりは生クリームが主となり、紅白の色合いの繊細の良さに、イチゴのショートケーキが定番になったと言われます。



～歴史文化基本構想の策定に向けて～町民ワークショップ
後世に伝えたい、残したい、私たちの営み

11月30日、親月台文化センターで、歴史文化基本構想に向けた町民ワークショップを行いました。広報くにみ11月号で紹介した歴史文化基本構想策定に向けた取り組みの一つとして行ってきた今回のワークショップでは、「阿津賀志山」と「守り、伝えたい地域の活動」というテーマを中心に、参加者が地区ごとに班になり、思い出話を交えながら地域の歴史や文化、営みについて考える有意義な時間となりました。

第4回鹿島神社例大祭フォトコンテスト
応募作品を展示しています!

今年も10月25から27日にかけて行われた鹿島神社例大祭。町指定無形民俗文化財である、神輿と山車の迫力ある祭礼の様子を多くの方に撮影していただき、フォトコンテストが開催されました。活気あふれる一瞬を切り取った作品をぜひご覧ください。



平成31年度の構想策定へ向け、今後もみなさんご協力をお願いします。

場所 国見町文化財センター「あつき歴史館」(国見町大字大木戸字露原3)
期間 1月30日(土)まで展示中
午前9時から午後4時30分(月曜休館)

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
埋蔵文化財の取扱いに関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本町における「周知の埋蔵文化財包蔵地」は、137ヶ所存在する。これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
開発計画および史跡整備に伴う発掘調査を2件実施した。このほか開発に伴う試掘調査などを実施した。 【開発等に伴う発掘調査実施遺跡】・長障子遺跡 1件 【史跡整備に伴う発掘調査】・阿津賀志山防塁 1件 【開発に伴う試掘調査】・旧国鉄藤田駅 1件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		



開発に伴う長障子遺跡の発掘調査(遺物包含層調査)



長障子遺跡出土の縄文土器



史跡整備に伴う阿津賀志山防塁の発掘調査



開発に伴う試掘調査(旧国鉄藤田駅)

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町には、文化財の調査・発信をしている団体や、無形の民俗文化財を保護するために活動している団体等、多種多様な活動を展開している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【町内民間団体】

- 国見町郷土史研究会による講演会、方部研修会、展示会の開催
 文化祭展示(11月)「災害史にみる『飢饉展』」39人参加
 11月19日 石母田方部研修会 フィールドワーク、石母田城跡・牛石・弁天神社・義経腰掛松 71人参加
 12月2日 歴史講演会「郷土史研究会と共に半世紀 先生との思い出～菊池利雄先生追悼講演～」46人参加
- 内容春日神社太々神楽保存会・国見町子ども太々神楽教室育成会
 文化祭における神楽公演(11月4日)および各イベントでの公演
 子ども太々神楽教室の開催
- 国見町中尊寺蓮育成会による中尊寺蓮の育成
 7月29日 講演会「あなたと国見町がきれいになる蓮の話」60人参加
 9月 絵画コンクールの開催 196名からの応募
- 国見伝統文化保存会による鹿島神社例大祭フォトコンテスト実施 21点応募
- 大木戸歴史むらづくりの会との連携
 5月～2月 あつかし歴史館イベント 計4回、来場者のべ約800名
- くにみ阿津賀志山防塁活用推進懇談会
 7月30日、11月1日、2月26日 活用に関するワークショップを3回開催

【町外団体】

- JR東日本による「JR小さな旅」の開催 3回開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



郷土史研究会方部研修会



鹿島神社例大祭フォトコンテス



中尊寺蓮絵画コンクール



あつかし歴史館×大木戸歴史むらづくりの会
七夕まつり

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町の文化財を保存・活用していくためには、本町をはじめとする行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存・活用に取り組んでいる団体と連携することは不可欠である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【主催事業】

- 国見小学校 郷土学習(史跡探検)
- 公民館事業 少年仲間づくり教室(古民家体験)
- 福島大学 域学連携事業(内谷集落活性化)
- 桜の聖母短期大学 域学連携事業(貝田フィールドワーク)
- 郡山女子大学 石工フェス2018

【共催・後援事業等】

- 歴史的景観都市協議会、文部科学省、農林水産省、国土交通省主催「歴史まちづくり法10周年記念シンポジウム」(5月11日) パネリストとして参画
- 国土交通省東北地方整備局・多賀城市主催「東北歴史まちづくりサミット2018in多賀城」(5月17日) パネリストとして参画

【その他】

- 伊達市・桑折町・福島市との連携に係る意見交換

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



「桜の聖母短大貝田FW」 佐野屋見学



国見小学校「郷土学習」



少年仲間づくり教室「弓矢体験」



歴史まちづくり法10周年記念シンポジウム

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度 平成30年度 掲載紙等
復活の舞を奉納(内谷春日神社太々神楽)	平成30年4月18日	福島民報
国史跡指定を答申(阿津賀志山防塁)	平成30年6月16日	福島民報・民友
国見の歴史公園整備を説明(阿津賀志山防塁)	平成30年6月20日	福島民友・読売
国見石の歴史体感(国見石)	平成30年9月20日	福島民友
歴史生かし町の魅力発信を(歴まち計画)	平成30年11月11日	福島民友
国見で食文化学習(貝田地区)	平成31年1月30日	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくりに関わる取り組みを積極的に報道機関へ情報提供し、発信が図れた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

●域学連携に関する記事

・貝田地区の食文化と歴史を体感 桜の聖母短大生、現地で体験 (平成31年1月30日 福島民報)

●文化財センターに関する記事

・国見町郷土史研究会との連携事業 あつかし歴史館にて「国見往来著名人」展示(平成30年4月16日 福島民報)
 ・大木戸歴史むらづくり会との連携企画 あつかし歴史館にて七夕まつりイベント開催(平成30年8月17日 福島民報)

●祭礼・イベントに関する記事

・小中高生向けの太々神楽を学ぶ教室を開催(平成30年9月4日 福島民報)
 ・奥山家住宅にて往時のクリスマス体験(平成30年12月5日 福島民報)

●講演会・シンポジウムに関する記事

・東北歴史まちづくりサミット(会場多賀城市)にて「公民連携と歴史まちづくり」と題したパネルディスカッションにパネリストとして参加(平成30年5月24日 福島民報)
 ・石材加工技術PR 国見で石工フェス(平成30年9月20日 福島民友)



東北歴史まちづくりサミット参加
(平成30年5月24日記事掲載)



「歴史公園整備の説明」現地説明
(平成30年6月20日記事掲載)



あつかし歴史館七夕イベント
(平成30年8月17日記事掲載)



「石工フェス」にて石加工体験
(平成30年9月20日記事掲載)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目

文化財の保存・活用の普及・啓発による効果

本町では、本町の文化財の活用を効果的に行うために、町内外の多くの人々に文化財の存在を知ってもらい理解してもらう機会を提供する普及・啓発の取り組みを行ってきた。奥山家住宅などの歴史的建造物等について、町のイベントや文化財公開デーなどの機会に内部を公開し、町内外の人々へ魅力を発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成30年9月、義経まつりでの奥山家住宅一般公開は、来館者総数746名と昨年度より5%増となった。平成30年度文化財ボランティア利用者延べ人数及び利用団体数は2,439名、48団体の利用で前年度と比較すると減少しているが、要因の一つとしては、毎年行っている夏の中尊寺蓮池での案内ガイド活動を、猛暑のため中止したことが考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

案内ガイドの健康安全に配慮した活動

状況を示す写真や資料等

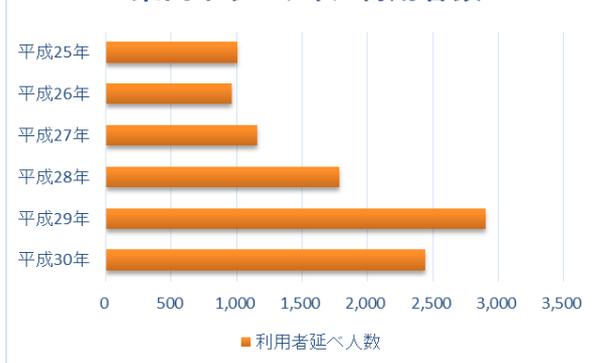
■国登録有形文化財 奥山家住宅洋館・主屋の一般公開

	来館者数	うち町外者数(割合)
平成26年9月23日 義経まつり	440名	290名(65%)
平成27年9月20日 義経まつり	652名	529名(81%)
平成28年3月5日 奥州街道フードフェスタ	651名	365名(56%)
平成28年9月22日 義経まつり	722名	459名(63%)
平成29年3月5日 奥州街道フードフェスタ	693名	485名(70%)
平成29年9月22日 義経まつり	713名	492名(72%)
平成30年3月4日 奥州街道フードフェスタ	695名	491名(71%)
平成30年9月23日 義経まつり	746名	567名(79%)

■国見町文化財ボランティアの利用実績

年度	利用者延べ人数	団体利用延べ数
平成25年	1,005	14団体
平成26年	963	13団体
平成27年	1,160	34団体
平成28年	1,783	48団体
平成29年	2,902	70団体
平成30年	2,439	48団体

案内ボランティア利用者数



評価対象年度	平成30年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第5回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和元年5月22日 13時30分～16時00分	
<p>(コメントの概要)</p> <p>【進捗評価について】</p> <p>①歴まち事業は、国史跡である阿津賀志山防塁を最大限に活用してまちづくりを行うのがベースと思う。その中で、道の駅、歴史館、歴史公園を強固に関連付けることが重要であり、サイン計画とか周遊案内板は非常に大事と思うため、明確に整備してほしい。</p> <p>②サインは景観上心配するところ。何かルール化しているのか。</p> <p>③サインについて、スマートフォンなどを使ったweb発信などは、あまり費用がかからずにとできるので活用してはどうか。</p> <p>④奥州街道沿い、福島には嶋貫家、国見には奥山家がある。何か連携してできれば、点と点が線でつながるのではないか。</p> <p>⑤歴史文化読本は、学校等に配付したのか。</p> <p>⑥改元により、事業期間等わかりずらくなっている。計画も含めて全体的に西暦にしたほうがわかりやすいのではないか。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>①道の駅の来場者をいかに歴史館、歴史公園に誘客できるか、今後サイン等十分意識しながら取り組んでいく。</p> <p>②現在計画はないが、歴史公園整備、また景観計画の策定も予定されており、合わせて進めていきたい。</p> <p>③今後整備の中で検討していく。</p> <p>④近隣市町との意見交換、連携を密にし前向きに検討していく。</p> <p>⑤平成30年度は作成まで、まだ配付はできていない。これから配付、活用に向け進める。</p> <p>⑥平成27年に認定された計画をベースに年度記載をしているため、確認する。</p>	